

2026年12月期 第2四半期（中間期） 決算説明

サイオス株式会社
(東証スタンダード市場:3744)
2026年8月6日



目次

1.会社・事業概要

2.業績

- サマリー

- 2026年上期連結概況

- 2026年上期セグメント別概況

- 2026成長戦略の進捗

- 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

1.会社・事業概要

2.業績

- サマリー

- 2026年上期連結概況

- 2026年上期セグメント別概況

- 2026成長戦略の進捗

- 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

世界中の人々のために、不可能を可能に。

「オープンソースソフトウェア※（OSS）」と

「AI」技術で企業のITを支えるSIOS

創業

1997年

従業員数

2025年12月31日時点・臨時雇用者を含む

544名

連結グループ

6社

エンジニア比率

サイオステクノロジー(2026年4月)

61%

サイオスにはオープンソースソフトウェアの**オープン**で**自由な発想・革新性**がDNAとして企業風土に根付き、競争力となっています

オープンソースソフトウェア：
世界中の**エンジニア**が**協働**して開発・改善する、高い**透明性**をもつソフトウェア

オープンで活発な情報発信

▶エンジニアが自発的に技術を発信するブログ
「SIOS Tech Lab」



部や課のないフラットな組織

▶働きやすさと働きがいを両立する環境を外部機関も評価

健康経営優良法人
6年連続認定



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

「働きが認定企業」
4年連続選出



オープンソースソフトウェアと先端技術をコアとし 3つのセグメントで企業向けソリューションを提供

プロダクト&サービス

自社開発

ソフトウェア製品の
開発・販売・サポート

- 障害対策ソフトウェア
「LifeKeeper」
- 文書管理アプリケーション
- グルージャントシリーズ
(業務効率化ツール)

コンサルティング & インテグレーション

企業向けシステムの
企画・開発・運用

- 金融領域
- 文教領域
- API※領域
- オープンソースソフトウェア
活用支援
- AI導入支援

ソフトウェアセールス & ソリューション

最先端ソフトウェアの
販売と技術サポート

- レッドハット株式会社
- Elastic N.V.

オープンソースソフトウェアの商用利用から、 先端技術による企業のDX支援へと拡張した進化の軌跡

1997**株式会社
テンアート二設立**

オープンソースソフトウェアの日本における
先駆者としての歩みを
開始

2004**東証マザーズ
上場**

オープンソースソフト
ウェア専門企業として
初の快挙

2015**東証第二部
市場変更**

東証第二部へ市場変更

2017**持株会社体制へ
移行**

サイオス株式会社と
事業会社に分割、
柔軟な経営体制作り

2022-25**更なる進化**

東証スタンダード
移行(2022)
構造改革を実施、
セグメントを変更

2026**第30期 売上高
200億円へ**

売上高200億円、
AI×オープンソース
ソフトウェアで
更なる成長へ

1997 98 99 2000 01 02 03 04 05 06 07 08 09 2010 11 12 13 14 15 16 17 18 19 2020 21 22 23 24 25 26

オープンソースソフトウェア、クラウド、AI等の先端技術で企業のDXを支援

1.会社・事業概要

2.業績

●サマリー

- 2026年上期連結概況
- 2026年上期セグメント別概況
- 2026成長戦略の進捗
- 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

売上高・営業利益とも前年比増収増益

連結売上高

10,944百万円 ↑
(前年同期比 15.4%増)

連結営業利益

1 9 6百万円 ↑
(前年同期比 9.0%増)

年度予想進捗率

43.6%
(営業利益)

プロダクト&サービス・ソフトウェアセールス&ソリューションが 前年比増収増益

セグメント
①

プロダクト & サービス

セグメント利益前年比 **10.3%増**

文書管理アプリケーションはサブスク本格移行により収益構造が変化し減収減益となったが、LifeKeeperやグルージェントシリーズ等はストック売上高を収益基盤に増収増益。

セグメント
②

コンサルティング & インテグレーション

セグメント利益前年比 **1.5%減**

文教向けシステム開発・構築支援は堅調、生成AI※導入支援事業等の新規ビジネスも順調に推移。他事業が前年度好調の反動を受け、セグメント全体では減収減益。

セグメント
③

ソフトウェアセールス & ソリューション

セグメント利益前年比 **27.3%増**

企業向けAI実装に適した高精度な検索ソリューションに加えセキュリティ機能も評価され、Elastic N.V.関連商品が増収・増益に寄与

1.会社・事業概要

2.業績

●サマリー

● **2026年上期連結概況**

● 2026年上期セグメント別概況

● 2026成長戦略の進捗

● 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

2026年12月期 上期業績（連結）

全項目で前年伸長を達成

(単位：百万円)	2025年12月期 上期実績	2026年12月期 上期実績	差額	前年同期比
売上高	9,486	10,944	+1,458	+15.4%
売上総利益	2,581	2,747	+166	+6.4%
営業利益	179	196	+16	+9.0%
経常利益	221	239	+18	+8.2%
親会社株主に帰属 する中間純利益	119	141	+21	+18.2%
EBITDA※	194	237	+42	+21.9%
ROIC※(年率換算)	14.3%	13.0%	—	—

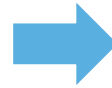
※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額
 ※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

貸借対照表（連結）

利益剰余金の増加により純資産は順調に増加

2025年12月31日

流動資産 7,580 (内現預金 3,586)	負債 6,805 (内有利子 負債47)
固定資産342	純資産合計 1,856
投資その他738	
資産合計 8,662	負債純資産合計 8,662



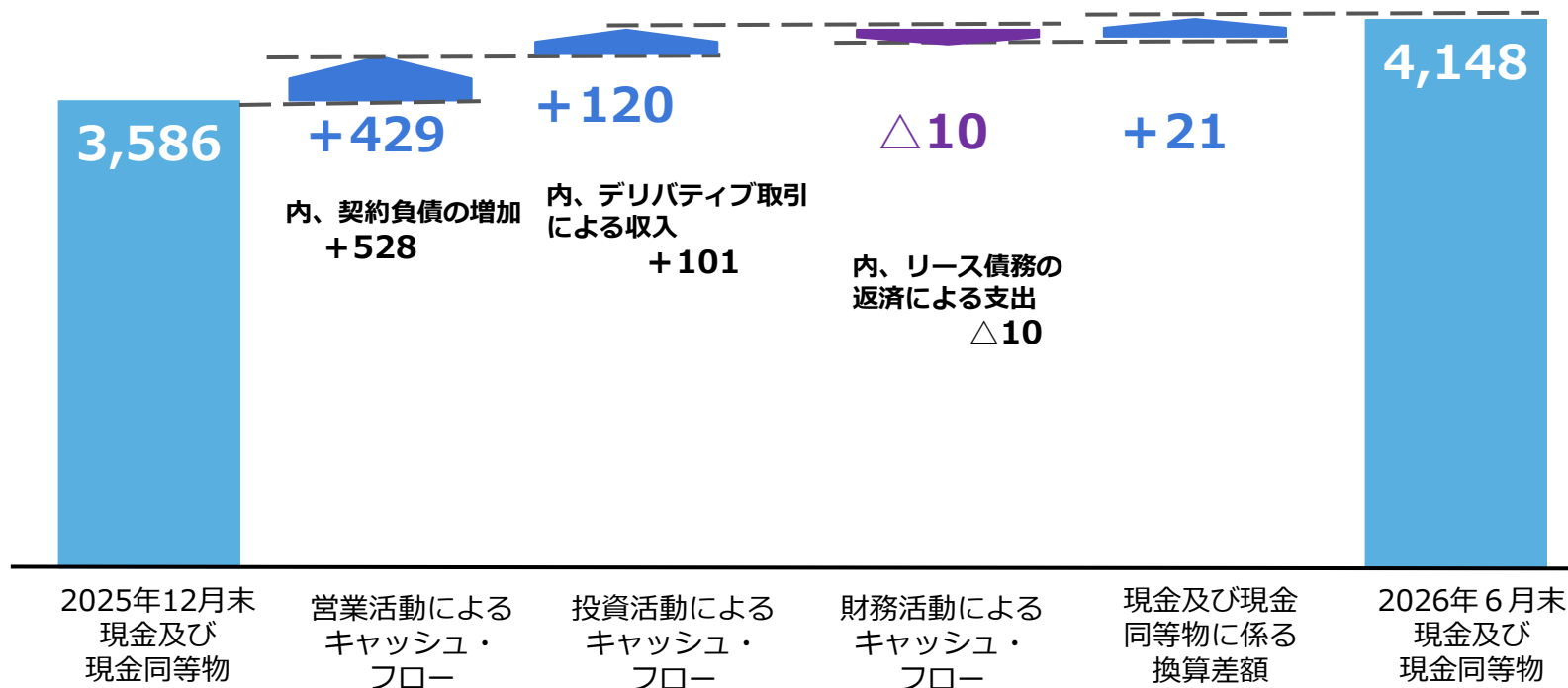
2026年6月30日

流動資産 8,402 (内現預金 4,148)	負債 7,430 (内有利子 負債37)
固定資産304	純資産合計 2,010
投資その他733	
資産合計 9,440	負債純資産合計 9,440

(単位：百万円)

キャッシュ・フロー計算書（連結）

営業活動で獲得した資金の一部をリース債務の返済に充当
現金同等物は 561百万円増加



(単位：百万円)

1.会社・事業概要

2.業績

- サマリー

- 2026年上期連結概況

- **2026年上期セグメント別概況**

- 2026成長戦略の進捗

- 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

セグメント別概況総括

(単位：百万円)		2025年12月期 上期実績	2026年12月期 上期実績	前年同期比	通期予想 進捗率
プロダクト&サービス	売上高	2,365	2,483	+5.0%	39.4%
	営業利益	284	314	+10.3%	33.1%
コンサルティング& インテグレーション	売上高	1,755	1,693	△3.5%	51.3%
	営業利益	213	210	△1.5%	80.8%
ソフトウェアセールス& ソリューション	売上高	5,372	6,774	+26.1%	65.1%
	営業利益	72	92	+27.3%	102.2%
調整（全社費用他※）	売上高	△6	△6	—	—
	営業利益	△391	△421	—	—
連結合計	売上高	9,486	10,944	+15.4%	54.7%
	営業利益	179	196	+9.0%	43.6%

※全社費用は、主にセグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります © SIOS Corp. All rights Reserved.

セグメント① プロダクト&サービス

(単位：百万円)

売上高

2,365

2,483

2025年度
上期

2026年度
上期

セグメント利益

284

314

2025年度
上期

2026年度
上期

セグメント利益

前年同期比

10.3%増

- ・ 文書管理アプリケーションの一部製品がサブスクモデルに移行した事により、収益が一時的に下押し
- ・ 主力製品の「LifeKeeper」「グリーンジェントシリーズ」は好調のためセグメント全体は増収増益

プロダクト&サービス セグメント利益増減分析

主力製品の「LifeKeeper」
「グルージェントシリーズ」
は好調

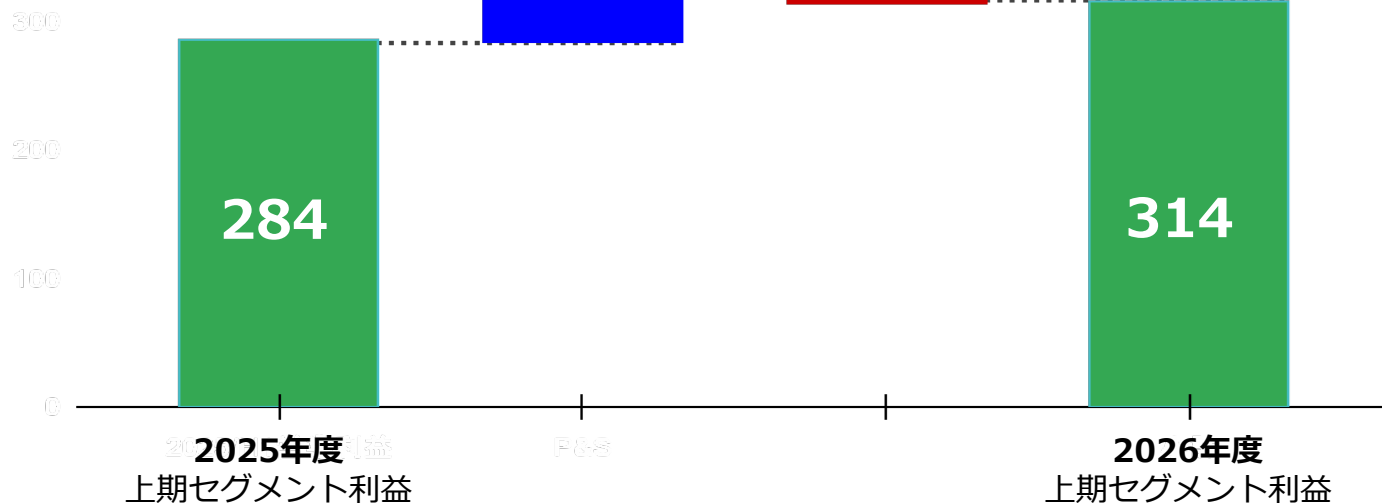
増益

+156

減益

△126

文書管理アプリケーションで
一部製品のサブスクモデル移
行に伴う収益構造の変化



(単位：百万円)

ストック型ビジネスモデルへの継続投資の一環として、
文書管理アプリケーションのサブスク化を一層推進

- **ライセンスモデル**

- ・ 販売時に一括で売上を計上



- **サブスクリプションモデル**

- ・ 使用量に応じて月毎に売上を計上

**サブスク化が短期的に売上を下押しするが、
中長期的には安定的に売上が拡大**

セグメント② コンサルティング&インテグレーション SIOS

(単位：百万円)

売上高

1,755

1,693

2025年度
上期

2026年度
上期

セグメント利益

213

210

2025年度
上期

2026年度
上期

セグメント利益

前年同期比

1.5%減

・ 文教向けシステム開発・構築支援及び生成AI導入支援事業は案件獲得が順調に推移したものの、その他の事業で前年度が好調であった反動により、セグメント全体では減収減益

セグメント③ ソフトウェアセールス&ソリューション SIOS

(単位：百万円)

売上高

6,774

5,372

2025年度
上期

2026年度
上期

セグメント利益

72

92

2025年度
上期

2026年度
上期

セグメント利益

前年同期比

27.3%増

- ・ Elastic N.V.関連商品が好調に売上を伸ばした影響等により、増収増益

1.会社・事業概要

2.業績

- サマリー

- 2026年上期連結概況

- 2026年上期セグメント別概況

- **2026成長戦略の進捗**

- 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

企業理念の推進

世界中の人々のために、不可能を可能に。

中長期的企業価値向上 & 持続的な成長に向けて

ビジネス
モデル

ストック型ビジネスモデルへの継続投資

技術

AIとオープンソースソフトウェアによる事業強化

ビジネスモデル

**ストック型ビジネスモデル売上高比率を向上させ、収益力を強化する
(プロダクト&サービスセグメントのストック売上年間40億円超)**

サブスクリプション 製品比率の拡大

従来のライセンス販売に加えサブスクリプション提供も可能にし、**ストック型ビジネスモデル製品の比率**を高める

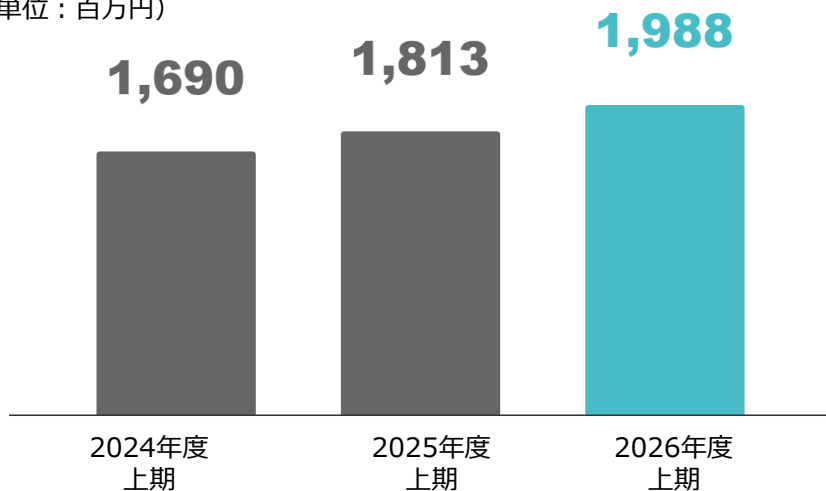
契約数増による ストック売上の伸長

新規契約獲得と**高付加価値品販売**による単価増に注力し、ストック売上の増加を目指す

ストック型ビジネスモデル売上高比率は高水準で推移

ストック売上高※

(単位：百万円)



①ストック売上高比率

80.1%

②年度予想進捗率

49.1%

年度予想4,050百万円に対する進捗率

注) 2026年度より一部事業の報告セグメント変更を行ったため、過年度も含め変更後の数値を集計しております

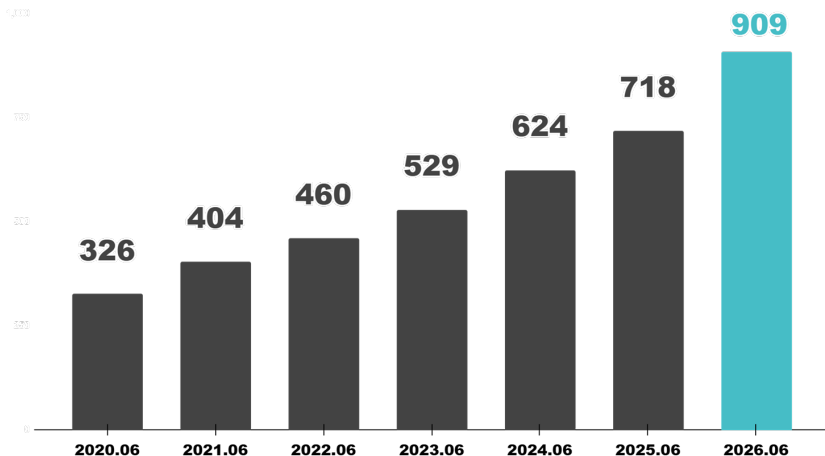
注) 2024年度に事業譲渡した金融機関向け経営支援システム販売事業を除く

※ストック売上高：サブスクリプション・保守/サポートを中心とした継続的・安定的な売上のこと

グルージェントシリーズのARR 26.5%増 継続して順調に伸長

【グルージェントフロー及びグルージェントゲートの合計ARR※推移】

(単位：百万円)



合計ARR

前年伸長率 **26.5%増**



Gluegent Flow



Gluegent Gate

(グルージェントフロー)

(グルージェントゲート)

前年伸長率 **54.6%増**

前年伸長率 **11.2%増**

※ARR (Annual Recurring Revenue) = 月末におけるMRR (サブスクリプション契約等に基づき毎月繰り返し得られる収益の月間合計) × 12ヶ月

技術

生成AI活用・AIエージェント※的アプローチによる事業強化

プロダクト& サービス

自社製品へのAI機能搭載を継続開発

コンサルティング& インテグレーション

顧客のAI活用支援

全セグメント

AI活用による開発工数の大幅な削減

オープンソースで培った設計力を活かし、 システムのAI駆動開発に投資



人からAIへ



開発全工程を複数AIを活用して全自動化(AI同士の自律的な確認・修復)

人の判断による品質保証



開発工期短縮による製品力強化&エンジニアリソースの最適配分による競争力強化

1.会社・事業概要

2.業績

●サマリー

● 2026年上期連結概況

● 2026年上期セグメント別概況

● 2026成長戦略の進捗

● 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

2026年12月期 通期業績予想

連結業績予想は据え置き

(単位：百万円)

	2026年12月期 業績予想	2026年12月期 上期実績	進捗率
売上高	20,000	10,944	54.7%
営業利益	450	196	43.6%
経常利益	510	239	47.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	370	141	38.1%
EBITDA	540	237	44.0%
ROIC	13.4%	13.0%	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

1.会社・事業概要

2.業績

- サマリー

- 2026年上期連結概況

- 2026年上期セグメント別概況

- 2026成長戦略の進捗

- 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

4.Appendix

**2026年12月期は5円、
2027年12月期以降は連結配当性向30%以上を目標とする**

	2026年12月期	2027年12月期	2028年12月期
1株あたり 配当金	5円	連結配当性向30%以上目標	

株主の皆様の日頃よりのご支援に対する感謝を表すとともに、
当社株式への投資、中長期的な保有をいただける株主様の増加を
図ることを目的として、株主優待を導入しております

基準日	保有株式数	優待内容
12月末日	200株以上	2,000円相当のカタログギフト（食品）

サイオス株式会社株主優待情報：<https://www.sios.com/ja/ir/individual/benefit/>

1.会社・事業概要

2.業績

- サマリー

- 2026年上期連結概況

- 2026年上期セグメント別概況

- 2026成長戦略の進捗

- 2026年12月期業績予想

3.株主還元（配当・優待）

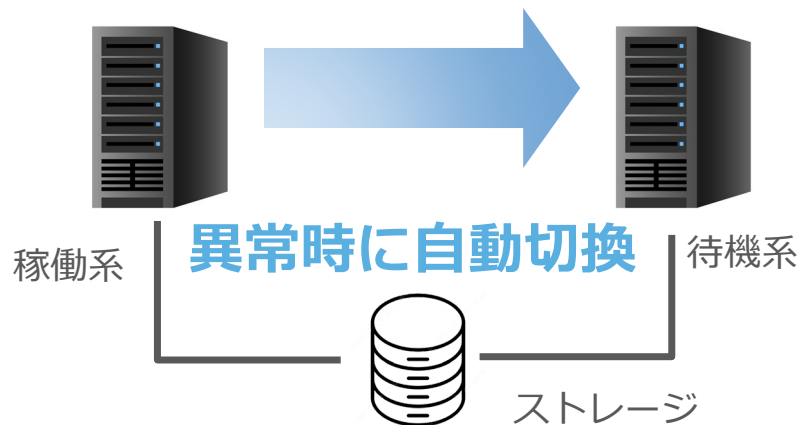
4.Appendix

製品・サービス概要

障害対策ソフトウェア LifeKeeper

「止められないシステム」を 支えるソフトウェア

24時間365日監視



- 顧客のシステム運用状況を常に監視し、障害発生時には稼働系システム※から待機系システム※に自動切替えを実施し、システム停止時間を大幅に短縮
- 行政・通信・金融等の「止められないシステム」の障害対策に貢献しています

文書管理アプリケーション

スキンの手間を半分に、
文書管理を簡単に



- 複合機での「スキャン」の手間を減らし、便利に文書をデジタル化できるスキャンアプリケーション
- スキャンデータの整理、検索が可能になり紙の保管の手間やコストを削減

ワークフローシステム グルージェントフロー

カンタン申請・承認、 導入もスムーズ



グルージェントフロー

紙の稟議をクラウド化

申請・承認を効率化する
使いやすいワークフロー

交通広告掲載中! 特設ページオープン!

New
付箋機能

NaI
2023
ASPIC
2024
Good Service
2023

- 紙の稟議書や押印をなくしクラウド化することで決裁のスピードアップを実現するソフトウェア(ワークフローシステム)
- スマホやPCからいつでも安全に申請・承認が可能なおうえに、文書要約や検索等のAI機能を搭載し使いやすさを追求

ID管理システム グルージェントゲート



リモートワークやクラウド時代に 最適なID管理・セキュリティソフト

- 1回の本人認証で複数の社内システムへのログインを実現し、パスワード管理等の煩雑さから社員を解放
- 「いつ」「誰が」「どこから」の制御に加え、多要素認証で本人確認を強化し、なりすましによる不正アクセスを防御

【主な事業領域】

金融領域



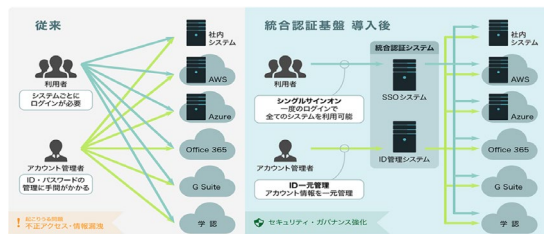
Financial & Unique SI Service Line
ファイナンシャル&ユニークサービスライン

上場企業、金融機関に選ばれ続ける
革新的なシステムインテグレータ

20年間、上場企業や大手金融機関を中心としたシステムを提供し続けてきた私たちは、お客様の高度な信頼に応える堅実な実力と柔軟的な技術があります。

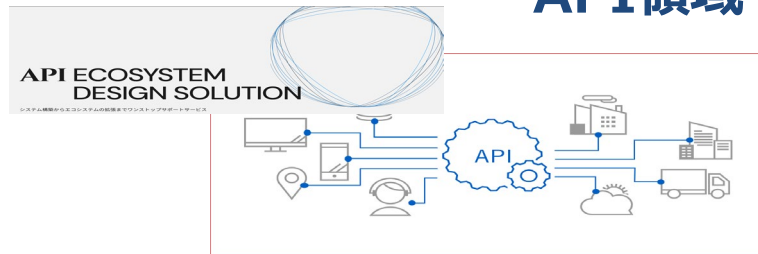
上場企業や大手金融機関を中心としたシステムインテグレーション※サービス提供に20年以上の実績

文教領域



100を超える大学・教育機関への導入実績のある
教育機関向け認証ソリューション

API領域



ワンストップでAPIプロジェクトを支援

生成AI導入支援

SIOS NEXT TECH SOLUTIONS



エンタープライズでの生成AI導入を支援

【主要提携先】

レッドハット株式会社



世界最大級のオープンソース企業であるレッドハット株式会社のパートナーとしての20年以上の実績を通じて顧客の情報システム構築に貢献します

Elastic N.V.



国内初のディストリビューターとして共同で日本国内における展開を強化します

用語集

頁	用語	説明
4	オープンソースソフトウェア	Open Source Software(OSS)の略。ソースコードが公開され、誰でも無料で利用、改変、再配布が許可されているソフトウェアのこと
6	API	Application Programming Interfaceの略。異なるソフトウェアやアプリケーション間で連携させ、効率的に機能やデータを共有するための仕組み
10	生成AI	大規模言語モデル（LLM）などを活用し、テキスト、画像、コード等を自律的に生成できるAI技術
27	AIエージェント	単発のタスク処理にとどまらず、複数の業務プロセスを連携させ一連の仕事を完遂できるAI技術
28	デプロイ	開発したシステムやソフトウェアを、実際の運用環境（サーバーやクラウドなど）に配置し、ユーザーが利用できる状態にすること
36	稼働系システム・待機系システム	稼働系システム：通常時にサービスを提供する「メイン」システム 待機系システム：メインが故障した際に稼働系と入れ替わるシステム
40	システムインテグレーション	システムの企画から開発、その後の運用までを一括して請け負うサービスのこと

SIOS is Innovative Open Solutions

本社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設立 1997年5月23日

市場 東証スタンダード（証券コード：3744）

社員数 連結493名（2025年12月31日現在）

主な連結
子会社 サイオステクノロジー（株）
サンディブルー（株）
SIOS Technology Corp. <米国>

IRサイト <https://www.sios.com/ja/ir/>

サイオスは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアを活用したシステムインテグレーションを原点とし、ソフトウェア製品及びSaaSを提供するテクノロジー企業群を子会社とする持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をグループミッションに、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献してまいります。

詳細情報は、<https://www.sios.com> をご覧ください。

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。

但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本資料で使用する商標、ロゴ、商号に関する権利は、弊社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。

本件に関するお問い合わせ

サイオス株式会社 IR担当

Tel : 03-6401-5125 (直通)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html

